

取組1 中原区食品衛生協会

中原区食品衛生協会は、7・8月に食中毒予防キャンペーンとして、武蔵小杉、新丸子、武蔵新城、元住吉、平間の各駅周辺において食中毒（O-157、カンピロバクター等）の予防のチラシを配り、自主健康管理を呼びかけています。

また、8月の巡回指導では委嘱を受けている指導員により、飲食店を巡回して営業許可証の掲示を求め、トイレ、手洗い場、服装、そ族昆虫の駆除等々の指導や、セップメイトを使用して手指、まな板、包丁の大腸菌群の有無の検査を行い、飲食を提供する側の食中毒予防の対策の意識を高める活動を行っています。



連絡先 中原区食品衛生協会【住所】中原区小杉町3-26【TEL】044-739-3150

取組2 中原区食生活改善推進員連絡協議会

食生活改善推進員とは「私達の健康は、私達の手で」をスローガンに、食を通じた健康づくりを行っている、全国組織のボランティア団体です。

行政の養成講座を修了した人達で、活動を行っています。男性の会員も平成24年度より加わり、より一層活発になっています。愛称：ヘルスマイト 食改さん…など

役割はまず家族の健康、そしてお隣さんお向いさんと働きかけ、仲間を広げ、地域ぐるみで良い食習慣づくりや、健康づくりを広げています。

食生活改善推進員は、健康づくりの案内役をしています。各団体は、大きな目標持って、幼児から高齢者まで幅広い層に働きかけて、「健康寿命の延伸」「健康格差の縮小」に務めています。

中原区食生活改善推進員連絡協議会は、平成6年に創立、20年が過ぎました。会員は現在104人、7グループで、活動しています。

食に対する知識・意識の向上を図るため、管理栄養士のご指導をいただいています。会員同士が思いやりの気持ちをもち、食を通じた健康づくりを行い、仲良く楽しく活動をしています。

活動拠点は、中原区役所保健福祉センター・中原市民館等ですが、依頼を受けた所にも出向きます。



連絡先 中原区食生活改善推進員連絡協議会 会長宅 または 中原区役所保健福祉センター 地域保健福祉課【TEL】044-744-3261

取組3 ユーコープ川崎1 エリア会

私たちは、川崎の南部エリア（川崎市・幸区・中原区）を拠点に、ユーコープの組合員活動をより活性化するため、さまざまな“つどい”を企画・運営しています。

現在は5名で活動していますが、ユーコープ本部やパートの職員、また多くの組合員に支えられ、地域とユーコープのつながりをより深めるために日々奔走しています。

活動の中心は、やはり「食」。

今年度は、夏休みに企画した、親子で食への関心を高めてもらう「おやこdeランチ」、地域の保健師や保育士を招いての育児相談も行った子育てひろば「びよびよひろば」などに取り組みました。「おやこdeランチ！」では、話題のジャーサラダに子どもたちが挑戦し、1日分の野菜の摂り方を学び、また手まり寿司やお吸い物で、シンプルな出汁の味わいを体験しました。

「びよびよひろば」では、育児相談の中で幼児期の栄養について話題になったり、お豆腐や野菜で楽しむシンプルでヘルシーなおやつを私たちからご提案し、実際に親子で味わっていただきました。

今後も、ユーコープの食の安心・安全をお伝えしつつ、地域のみなさんの「食育」への関心がさらに高まるようなつどいを企画・運営していきたいと考えております。

また、食育推進分科会への参加や食生活改善推進員との合同企画などを通じ、さまざまな連携をより深めていきたいと考えています。



連絡先 ユーコープ川崎1 エリア会【住所】中原区木月大町17-17 ライフイン大町1階【TEL】044-455-5912【FAX】044-455-5913

取組4 特別養護老人ホーム 等々力

正しい食事、バランスのとれた食事とは、単に口から取り入れる食事内容のことだけではありません。いろいろな食品群からバランス良く、それぞれの栄養成分をとり、さらに1日のうちで、食事のとり方を定期的にバランス良くとることが大切です。

運動、休養、食事のバランス、生活リズムを考慮して、適宜に配慮することを施設では心がけています。その結果、利用者の皆様一人一人に最適な栄養ケアを継続的にを行い、そのゴールは栄養状態を改善し、QOLを向上させることに繋がっていきます。利用者の皆様が幸せで生きがいに満ちた健康で豊かな生活を送ることができることに日々の研鑽を積んで行きたいと思っております。



連絡先 特別養護老人ホーム 等々力【TEL】044-753-2260【メール】kasugakai-eiyouka@bz03.plala.or.jp

取組5 日本医科大学武蔵小杉病院 栄養科

【入院患者さんの食事】

当院は372床の病院です。わたし達栄養科は、病院職員の管理栄養士4名、栄養士1名と、おもに調理関連の業務を委託している会社の管理栄養士、栄養士、調理師、パート職員約39名、合計44名で、1日3回患者さんの食事を作っています。患者さんの食事は、特に制限のない普通の食事と、塩分やエネルギー、たんぱく質の量などを制限する、治療のための食事があります。割合は、普通の食事の方が多いのですが、昨今の糖尿病や高血圧症の患者さんの増加で、治療食も増えてきています。

毎日の食事で季節感を出すために、献立に行事食を組み入れたり、季節の旬の食材や、流行のメニューを取り入れるなどの工夫をしています。

【チーム医療】

チーム医療とは、医師、薬剤師、栄養士、看護師、言語聴覚士、理学療法士などのさまざまな職種が、それぞれの専門性を活かし、連携して患者さんの栄養状態の改善や治療のフォローをすることを言います。チームには、栄養状態の改善をみるチーム、褥創チーム、心不全や呼吸器疾患のチームなどがあり、栄養士は食事面のサポートを行っています。

【栄養食事指導】

糖尿病や心臓の病気、高血圧症、あるいは腎臓病など、食事療法が重要な病気に対して、入院中や外来通院時に『栄養食事指導』を行っています。栄養食事指導は、病気を起こさせない、または悪くさせないなどの目的で、医師の指示のもと予約制で行っております。



連絡先 日本医科大学武蔵小杉病院 【住所】中原区小杉町1-396 【TEL】044-733-5181

取組7 川崎市立橋高等学校

川崎市立橋高等学校は、生徒が伸びゆく・輝く学校。

- 1 時代の変化とともに成長する橋
- 2 特色ある3つの学科(普通科・国際科・スポーツ科)
- 3 教育課程の充実
- 4 きめ細かな進路指導
- 5 ていねいな生徒指導
- 6 学業や学校行事・部活動などへの積極的な姿勢
- 7 充実した施設・設備



【川崎市立橋高校 食育講演会】

本校では、4年前より中原区食育推進分科会と連携し、主にスポーツ栄養についての食育講演会を行っています。

本校は、普通科・国際科・スポーツ科があり、また大変部活動のさかんな学校です。部活動でのより高いパフォーマンスが出せるように、また生涯を通じたスポーツとのつながりを踏まえ、講演会を実施しています。

- 講演内容／講師：平成23年よりニュートリションコーチ 管理栄養士 作田 雅子氏
平成25年・・・生徒のお弁当の写真を先生に見てもらい、お弁当箱の大きさやご飯のつめ方などアドバイスをもらいました。
平成26年・・・栄養補助食品のとり方について、どんなものをいつ摂ったらよいかなど講演いただきました。
平成27年・・・二人の生徒さんの一日の摂った食べ物・活動内容などから、具体的なアドバイスをもらいました。

連絡先 川崎市立橋高等学校 【住所】中原区中丸子562 【TEL】044-411-2640 【ホームページ】http://www.keins.city.kawasaki.jp/5/ke500401/

取組6 独立行政法人 労働者健康福祉機構 関東労災病院 栄養管理部

一般急性期病床 許可病床数610床 診療科33科

病院の理念

「働く人と地域のために、患者中心の最善の医療を実施します」

病院の基本方針

- 1.患者中心の最善の医療の実施
- 2.働く人に対する総合的な医療の実施
- 3.地域における救急・急性期医療の実施

当院は「地域医療支援病院」として、地域の医療機関と連携強化を図り、救急・急性期・高度先進医療を提供し、武蔵小杉駅や元住吉駅を中心とした地域の中核の病院として機能の提供を図っております。

平成23年4月から「神奈川県がん診療連携指定病院」に指定され、「がん疾患」に対する専門的な医療機関として位置づけられており、化学療法や放射線治療も積極的に実施しています。地域保健医療計画における専門的医療を担う病院として、脳卒中、糖尿病疾患あるいは周産期医療に積極的に取り組んでいます。

栄養管理部は、入院中のお食事の提供と栄養管理・栄養食事指導を担っています。入院中のお食事は栄養のバランスを考慮しながら治療に貢献しています。



連絡先 独立行政法人労働者健康福祉機構 関東労災病院 栄養管理部 【TEL】044-411-3131

取組8 神奈川県立中原養護学校

中原養護学校は、昭和49年に通称「井田山」と呼ばれる台地に建てられました。縄文時代から歴史時代までの数多くの住居跡と遺物が発掘された「神庭遺跡」の跡だそうです。「丈夫に生きようがんばろう」「豊かに生きようほほえもう」「仲良く生きよう働こう」という三つの学校教育目標を掲げ、日々教育活動に取り組んでいます。

現在、肢体不自由教育部門(小・中・高)と知的障害教育部門(高)と分教室(住吉高校内)があります。本校では毎日、普通食200人分、初期・中期食40人分の給食を、栄養士と調理員の皆さんで作っています。給食の時間までに介助員の皆さんが盛り付け・配膳をしてくれます。

食育係は栄養士を含む6名で構成しています。『献立紹介』『NKB中原給食総選挙』『HPによる毎日の給食紹介』『はにっぴーの食べ物教室』などを児童・生徒向けに行っています。保護者には『給食試食会』『再調理研修』などの活動も行っています。



連絡先 神奈川県立中原養護学校(本校) 【住所】中原区井田3-13-1 【TEL】044-755-1632

取組9 川崎市立小学校(中原区18校)川崎市立聾学校

児童期は、生涯にわたる健康の基礎としての生活習慣が形成される時期です。特に大人になって改めることが困難な食習慣は、身体の発達を促すだけでなく、心の育成や社会性の涵養にも密接に関わりを持ち、十分な配慮が必要です。しかし近年、社会環境の変化に伴い、児童をとりまく食環境は、著しくその姿を変えています。

そのような中、平成17年の「食育基本法」を受けて平成20年「学習指導要領」に食育の推進が明記されました。また川崎市においても平成23年に「学校における食に関する指導プラン」が作成されました。

それらをもとに、川崎市立小学校栄養教諭・学校栄養職員は、学校栄養研究会において「食育(食に関する指導)」の研究を進め、児童が体と心の健康について自ら考え、進んで実践する子どもの育成をめざして活動しています。



連絡先 川崎市立宮内小学校【TEL】044-766-4769【FAX】044-766-7049

取組10 学校法人坂倉学園サクラノ幼稚園

サクラノ幼稚園は、多摩川のすぐそば、という恵まれた環境にあります。その多摩川ではお弁当を食べたり、虫取り、花摘み、運動会の練習も行い、四季を肌で感じています。

また、集団生活を通して人とかかわる力、社会のルール、基本的な生活習慣を学んでいます。

体育やリズムの専門の指導者に指導を受け、体を動かす楽しみ、ハーモニカや鍵盤ハーモニカを通して音楽の好きな子どもに育ってほしいと考えています。

●サクラノ幼稚園で毎月発行しているお便りの中に「食育」のコーナーがあります。一部をご紹介します。

【年長組 トマトの栽培】

年長組では、トマトの栽培活動を行いました。トマトが苦手な子も「自分で育てた」という気持ちから、積極的に食べる姿が見られました。

【年中組 野菜のスタンピング】

爽りの秋！ということで、芋掘りの芋や秋ならではの野菜を使用し、「野菜のスタンピング」を楽しみました。

【年少組 さつまいもほり】

毎年恒例の「さつまいもほり」は絵本「ねずみのいもほり」「いもほりパス」を見ていて楽しみにしていました。実際に掘ってみると「ふとっちょ芋さん!」「へびさん芋あった!」と友だちや保育者と共有する姿が見られました。



連絡先 学校法人坂倉学園サクラノ幼稚園【TEL】044-411-5991

取組11 中原区PTA協議会

中原区PTA協議会は区内26校に設置されているPTA間の情報交換や、連携をする場を提供しています。会長1名、副会長4名、会計2名、書記2名、会計監査2名の役員で構成されています。

【PTA家庭教育学級における食育への取り組み】
PTA家庭教育学級とは

子どもたちが学校・家庭・地域の連携の中で健やかに成長できるよう、PTA会員等が子どもの理解や家庭教育について主体的に学ぶ場として、小・中学校等を会場に開設されている学級です。企画・運営は各学校のPTA等が行い、川崎市からは講師派遣などの支援を行っています。

【中原中学校PTAのご紹介(校外委員会主催)】

●「食育を考える」をテーマに料理教室を開催～身近な食品で健康な身体作り～
開催日：平成26年11月19日(水) 参加人数：25名

●講師：森永乳業株式会社M'S Kitchen
「M'S Kitchen(エムズキッチン)」は、森永乳業の出張料理講習会です。
「M'S Kitchen(エムズキッチン)」では「もっと美味しく・もっと楽しく・もっと素敵に」をテーマに、身近な食材に牛乳・チーズ・ヨーグルトなどの乳製品をプラスし、シンプルでありながら新しい発見があるおいしいレシピをご紹介します。

【平間小学校PTAのご紹介(教育文化委員会主催)】

●「五感を使った料理で食育」と題して料理教室を開催～食育に生かせるプロの技を学ぶ～
開催日：平成26年10月22日(水) 参加人数：32名

●講師：地元イタリアンレストランオーナーシェフ「クッチーナ・イル・テット」橋本徹也様
講師の橋本様に、調理および盛り付けのデモンストレーションをしていただきました!!
地元の食材を使って、健康作り役立つ料理を教えてくださいました。

【本日のメニュー】
前菜(冷製)：ポイル海老のツナソース和え
前菜(温製)：サツマイモとジャガイモのロースト
パスタ：アンチョビとプロッコリーの
スパゲッティ・ペペロンチーノ
デザート：マスカルポーネチーズのムース、
柿のマリネ

●料理教室を終えて
平間小学校では初めての試みでしたが、雨天にもかかわらず、32名の参加がありました。試食には教頭先生もご参加いただき、学びの機会であると同時にとても楽しい教室となりました。

連絡先 中原市民館 中原区PTA協議会【住所】中原区新丸子東3丁目1100番地12【TEL】044-433-7773【FAX】044-430-0132



参加者の皆様で
実習をしました!

参加者の声

・プロの料理のコツをお話いただき、大変参考になりました。
・とても楽しく勉強になりました。
またこういった機会があれば是非参加したいです。

取組12 小学館アカデミーしんまるこ保育園

小学館アカデミーしんまるこ保育園は、東急東横線新丸子駅とJR武蔵小杉駅から徒歩4、5分の位置にある、開園3年目の保育園です。

「あったかい心を持つ子どもに育てる」を保育理念に、1歳児から5歳児まで60名のお子さまをお預かりし、アットホームな雰囲気の中で、一人ひとりを尊重するあったかい保育を行っています。

食育については毎年一年間のテーマを設定し、年間を通じて取り組む中で、お子さまたちだけでなく、保護者の方にもわかりやすく伝えるように努めています。

今年度は、昨年度のテーマ「和食と感謝」をさらに掘り下げ、和食の中でも「郷土料理」に焦点を当てています。日本の食文化の素晴らしさを親子で感じられるような一年となるように、様々な角度から、全クラスのお子さまが「楽しく・おいしく」食育の活動を行なっています。



連絡先 小学館アカデミーしんまるこ保育園【住所】中原区新丸子東2-902-1プライムアーバン武蔵小杉comodo1階【TEL】044-431-3261【FAX】044-431-3262

取組13 小学館アカデミーむさししんじょう保育園

小学館アカデミーむさししんじょう保育園には栄養士が2名おり、お子様の成長・発達に応じた食育活動を通して好き嫌いをなくすことや「食べる」ことへの興味・関心を引き出します。

三色食品群は栄養素別に赤・黄・緑に色分けし、その働きやどの食材が何色なのかをお話しました。クラス担任、栄養士と一緒に「ご飯は黄色かな？緑かな？」「お肉はどの色？」とその日の食材をペタペタと貼り付けながら色分けします。できる限り毎日続けることがお子様たちが成長したとき健康的な食事を自ら考え、食材を選ぶそんな力の基礎になればと思います。



連絡先 小学館アカデミーむさししんじょう保育園 【住所】中原区上小田中2-35-44 【TEL】044-753-2007 【FAX】044-753-2008

取組14 社会福祉法人 藤雪会 まんまる保育園

社会福祉法人 藤雪会「まんまる保育園」は、2013年4月1日に定員80人の認可保育園として開園しました。2016年1月現在、毎日93人の園児、5人～10人の一時保育利用のお子さまが通っています。「まんまる保育園」の特徴的な取り組みなどをお伝えします。

保育

園庭では、子どもたちが自ら遊びを作り出すことができる環境を提供しています。毎日外遊びをすることを基本とし、園庭だけでなく園外にも出かけています。地域の自然環境に親しみ、四季折々の変化を楽しみながら、園外に出ることで社会的ルールを身につけたり、地域の方々との交流を深めています。

遊びを通して、個性や自発性を高め、五感を刺激・育てる遊び等を日々体験しています。

給食

季節にあった旬の食材、食品添加物を極力排除した食材、トレーサビリティ（食品流通の追跡可能性）のたしかな食材を利用した給食づくりをしています。

子どもたちの発達に合わせ、心身の成長に欠かせない食事を、園内の厨房にて手づくりで提供しています。

アレルギーのあるお子様の食事にも、ご相談をしながら対応しています。

環境

天然素材の床、化学物質に不安のない日用品の提供など、環境に配慮した園づくりをしています。

また、太陽光発電や雨水利用（散水）を行い、自然のエネルギーや資源を園生活の中に取り入れています。

子育て・子育て応援メニュー

・週3日以内の就労や、緊急時に対応した一時保育事業を実施しています。（詳細はお問い合わせください）

・「助産師さんの母乳ケア&ママサロン」などの親子サロン、離乳食講座などの育児講座、子育て相談窓口の開催など、子育て・子育て応援に取り組みんでいます。

・外国籍市民の子どもたちや、障がいを持った子どもたちに配慮しています。

・地域の高齢者の方々等との世代間交流を行なっています。

・地域の方々の協力を得て、キッズイングリッシュ教室なども開催しています。



連絡先 社会福祉法人 藤雪会 まんまる保育園 【TEL】044-920-9700 【FAX】044-920-9701 【メール】manmaru@hoiku-manmaru.jp 【ホームページ】http://blog.goo.ne.jp/manmaru_nakahara

取組15 ごうじ保育園

武蔵中原駅から歩いて5分、二ヶ領用水からほど近いところにある公立保育園です。0歳から6歳までのお子様をお預かりしています。

一年を通して生ごみコンポストからの栽培活動をしており、いのちの循環を子どもたちが五感で感じられるような食育活動を行っています。

地域のお子さんにも、月～金曜日9:30～12:00、14:30～16:00、土曜日9:30～12:00（雨天中止）に園庭開放を行っている他、絵本の貸し出しや専門職による育児・食事・健康相談を行っています。

また、月1回、0歳児向けのハイハイ広場、1歳以降向けのよちよち広場を開催していますので、お気軽にご参加ください。



連絡先 ごうじ保育園 【住所】中原区上小田中6-34-36 【TEL・FAX】044-722-6541

取組16 下小田中保育園

下小田中保育園は、0歳9名、1歳12名、2歳17名、3歳19名、4歳19名、5歳19名定員95名の保育園です。

園長、保育士14名、看護師1名、管理栄養士1名、調理師1名、用務員1名、非常勤保育士1名、非常勤用務員1名の21名の職員で構成しています。

「在園児や地域の子どもの健康な成長を願い、子どもたちの最善の利益を守り、その福祉の積極的な増進を図る役割を担う」を保育理念に掲げ、「心身ともに健康な子ども」を保育目標に、保育士を始め各職種が保育を行っています。食育も子どもたちが、食に興味を持てるように、栽培

を初め、栄養教育の実施や魚の写真を貼り親子で名前を当ててもらったりしています。保護者にも取り組みを知らせ、一緒に参加してもらえるように玄関に掲示をしたり、レシピ集を提供しています。レシピ集は地域の方にも配布しています。



連絡先 下小田中保育園 【住所】中原区下小田中4-4-17 【TEL・FAX】044-788-5890

取組17 中原保育園

中原保育園は乳児52名、幼児72名の公立保育園です。
 保育方針の一つである「食べることに意欲や関心を持つ」ということを念頭に食育活動を展開しています。
 園庭の小さな畑に夏野菜、さつまい、ポップコーン用のとうもろこしを栽培し子どもが食に興味を持ち、食べることに意欲につながるよう進めています。
 乳児には給食を通して、正しいスプーン、フォークの使い方を知らせ、また4、5歳児には体と食べ物との関係を3色栄養から知らせるなど年間を通して食教育を進めています。



連絡先 中原保育園 【住所】中原区小杉陣屋町2-3-1 【TEL・FAX】044-733-3835

取組18 中丸子保育園

中丸子保育園は定員乳児30名、幼児90名 合計120名の公立保育園です。
 保育の特色としていくつかある中「あそびと生活を通して、食育活動を意識して楽しむ」に取り組んでいます。
 園庭のプランターに夏野菜を栽培し、収穫した野菜をホットプレートで焼いて食べることで、野菜に興味をもち、苦手になっていた野菜が食べられるきっかけになるなど子どもの姿が変わってきています。
 また、近くに畑を借りポップコーン用のとうもろこし、さつまいを栽培し、収穫し、調理を行うなどしています。ポップコーンは5歳児がお店屋さんになり、3・4歳児を招待するなど保育を楽しみ、収穫したものをみんなで喜び、そんな充実した活動をおこなっています。
 また、毎朝園庭を走り、近くの環境も利用し、5歳児は多摩川の土手を走るなど食育指針のめざす子ども像の「いきいきとあそび、空腹感を感じ、食事を楽しみにする子ども」を実践しています。



連絡先 中丸子保育園 【住所】中原区中丸子1155 【TEL・FAX】044-411-5559

取組19 西宮内保育園

広い園庭がある自然豊かな保育園です。季節の移り変わりを身近に感じることができ、いつも元気いっぱい園庭で遊んでいます。
 子どもたちは、食べることが大好きで園庭のすみにある畑やプランターで野菜や稲を育てています。また、給食も大好きでおかわりも我先にとしているくらいです。
 地域のお子さんにも、月～金曜日9:30～12:00、14:30～16:00、土曜日9:30～12:00(雨天中止)に園庭開放を行っている他、絵本の貸し出しや専門職による育児・食事・健康相談を行っています。
 また、月1回、0歳児向けのハイハイ広場を開催していますので、お気軽にご参加ください。



連絡先 西宮内保育園 【住所】中原区宮内1-24-7 【TEL・FAX】044-755-6266

取組20 平間乳児・平間保育園

南武線平間駅から徒歩10分、多摩川のすぐ近くにある保育園です。乳児園舎と幼児園舎がそれぞれ独立していて、合わせて90名ほどのお子さんをお預かりしています。
 園庭は狭いですが、多摩川に近い立地を生かして、子どもたちは多摩川に遊びに行ったり、散歩を楽しんだりと活発に遊んでいます。
 時には、幸区の夢見ヶ崎動物公園まで歩いていたりもしています。
 地域のお子さんにも、月～金曜日9:30～12:00に園庭開放を行っている他、絵本の貸し出しや専門職による育児・食事・健康相談を行っています。
 また、月1回、0歳児向けのハイハイ広場を開催していますので、お気軽にご参加ください。



連絡先 平間乳児・平間保育園 【住所】中原区上平間366 【TEL・FAX】044-533-0116

中原区 食育交流会

毎年11月に開催される「中原区子ども未来フェスタ」の中で食育交流会を実施しています。中原区内の食育活動のパネル紹介、食材選びゲーム、紙芝居、エプロンシアター、まぐろ等魚の等身大写真の展示などを行いました。



魚クイズ①



魚クイズ②



紙芝居①



紙芝居②



食材選びゲーム①



食材選びゲーム②



まぐろと背比べ



中原養護学校 食育体感ブース



食育パネル



エプロンシアター

食育講演会

「食べることは「生きる」ことです。第3期川崎市食育推進計画の目標の一つに「楽しい食事で心をはぐくむ」が挙げられています。食卓でのコミュニケーションを通して、食べる楽しさや食べ物に感謝の気持ちを持つことで健康で心豊かな生活を送ることにつながります。未来のために何ができるか、命の源の「食」を考える講演会を実施しました。



平成27年度
テーマ「こころもあつたか！おいしいごはん」
～親が子に残せるもの～

講師 管理栄養士 公認スポーツ栄養士 作田 雅子 先生



区内栄養士・養護教諭等研修会

栄養士及び養護教諭等の関係職種が一体となって効果的に食育に取り組み、間断のない食育を推進するために区内に在勤・在住の栄養士・養護教諭等の食育に係わる方たち向けに研修会を実施しました。

平成27年度
テーマ「これからの食育のあり方を考える」～間断のない食育をすすめるために～
講師 神奈川工科大学 教授 饗場 直美 先生

内容

- (1)川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョンについて
- (2)講演「これからの食育のあり方を考える～間断のない食育をすすめるために～」
- (3)グループワーク

